

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2021年5月の国内電気銅建値は下記の通りです。

5月	10日	～	1180円/Kg
5月	13日	～	1190円/Kg
5月	17日	～	1170円/Kg
5月	20日	～	1150円/kg
5月	24日	～	1130円/kg

2021年5月度は平均で1156.80円/kgとなり、前月比112.30円/kgの値上がりとなりました。

海外銅価の動き

5月のLME銅相場	5/4～5/27	(安値ドル9,868.00～10,724.50 高値ドル)
5月のNYC銅相場	5/3～5/27	(安値セント449.60～477.85 高値セント)

5月度のLME現物は、3日\$9,961.00でスタート。高騰する銅価の勢いは衰えず、6日\$10,000を超え10日には\$10,724.50と史上最高値を記録した。米中景気の回復に加え、脱炭素化を背景に銅の使用量が多い電気自動車(EV)の普及期待が膨らみ、相場を押し上げている。米国の巨額財政出動も支えとなり、10年前に最高値を付けた当時の1万超えは短期に終わったが、今回は定着する展開を予想する声もある。

需要の5割を超える中国の景気底入れを受けて堅調に推移。年明け以降は新型コロナワクチンへの期待や米国の追加経済対策の発動もあって高騰の勢いを強めた格好だ。また、足元ではガソリン車比で3～4倍の銅量を使用するEVの普及期待の高まりも上昇を後押ししている。国際エネルギー機関(IEA)によれば20年のEVとプラグインハイブリット車(PHV)の世界販売台数は合計で前年比41%増の300万台に拡大と予想。

銅需給バランス…P社情報 2021年1月 資料より (単位/千トン)

	2020年 実績	2021年 実績	前年比	2022年 予想	前年比	2023年 予想	前年比
全世界地金生産	23,270	23,845	+2.5%	24,518	+2.8%	25,219	+2.9%
全世界地金消費	22,993	23,691	+3.0%	24,417	+3.1%	25,142	+3.0%
全世界需給バランス	+277	+154		+101		+77	

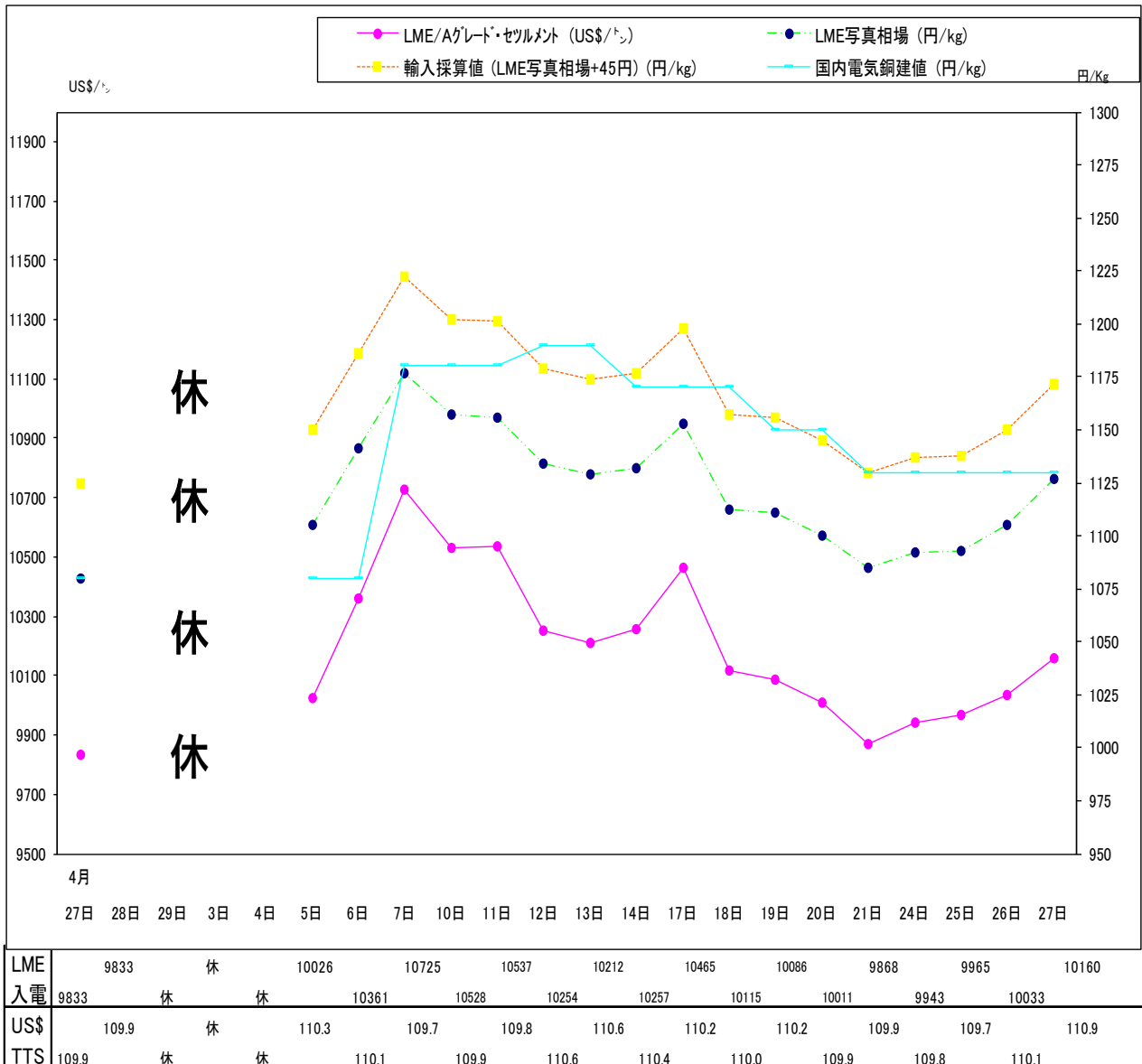
先行き短期見通

国内銅価

5月の国内建値は10日1180円でスタート。13日1190円と上昇。その後17日1170円、20日1150円とややダウン。24日には1130円となった。5月の建値は1156.80となった。

5/27付LME\$10,032.50、同為替(TTS)1USD=110.15円で日本円換算計算値1116円/kgに。2021年6月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り1160円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2021年5月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 5月 6日 ~ 376 円/kg
- 5月 12日 ~ 379 円/kg
- 5月 17日 ~ 373 円/kg
- 5月 26日 ~ 379 円/kg

平均376.00円/kg

2021年5月は上記の通りで前月比 17.80円/kgの 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	5月	299.30 円/kg	(前月比+	21.90 円/kg)
電気錫(相対)	5月	4,900.00 円/kg	(前月比+	400.00 円/kg)
ニッケル(溶解用)	5月市中価格	2,000.00 円/kg	～	2,050.00 円/kg
銀	4月平均	90,960.00 円/kg	(前月比-	220.00 円/kg)
	5月31日	100,180.00 円/kg		
金	4月平均	6,183.19 円/g	(前月比+	139.76 円/g)
	5月31日	6,755.00 円/g		

◎ 伸銅品関係

2021年3月の伸銅品・品種別生産速報(全国ベース)

		3月度実績	4月度速報	前月比	前年4月度実績	前年同月比
銅	板	974	1,080	10.9%	974	10.9%
	条	25,114	23,955	-4.6%	21,550	11.2%
	管	8,655	8,301	-4.1%	8,078	2.8%
	棒	1,853	1,881	1.5%	1,820	3.4%
	線	324	321	-0.9%	284	13.0%
黄銅	板	524	425	-18.9%	544	-21.9%
	条	9,458	8,886	-6.0%	7,345	21.0%
	管	458	462	0.9%	455	1.5%
	棒	16,277	16,211	-0.4%	13,605	19.2%
	線	2,337	2,193	-6.2%	1,817	20.7%
青銅	板	2,769	2,700	-2.5%	2,292	17.8%
	条					
	棒	297	293	-1.3%	252	16.3%
	線					
洋白・その他	板	480	547	14.0%	407	34.4%
	条					
	棒	392	406	3.6%	347	17.0%
	線					
合計	69,912	67,661	-3.2%	59,770	13.2%	

4月の伸銅品生産速報は、67,661トンで前月比マイナス2,251トン、前年同月比プラス13.2%となり、前年同月比が4ヶ月連続でプラスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の21年2月分実績及び3月分推定によれば、2月分実績は建販部門など6部門が前年同月を下回り、上回ったのは電気機械のみとなった。総計は5万2千89tで前年同月比5.3%減と17ヶ月連続で減少。20年4月以降二桁減が9月まで続いたが、10月から3月推定を含めると6ヶ月連続で減少幅が一桁台まで圧縮して来ている。

銅電線の3月分推定は、主力の建販をはじめ5部門がマイナスだが、電気機械と自動車の2部門が二桁の伸びとなったことにより、総計は5万9千300tで同0.9%増と、18ヶ月ぶりにプラスに転じる見通し。

2月分実績を部門別にみると、プラスは電気機械1部門のみとなった。自動車の電装用途と半導体、工作機械向けが動いた。また医療向けも下支えし、同4.3%増えて久々に6ヶ月連続の増加となった。3月は更に二桁増の見通しで、需要は上向いているが、増加したのは昨年同月の数値が低いこともあり、完全復活には至っておらず、業界では警戒感を緩めてはいない。

一方マイナスグループは6部門。通信は携帯基地局用高周波同軸が5G用に動くも他が低調で同8.6%減と5ヶ月連続での下降。電力は洋上風力発電が堅調で一部品種が伸び悩み同7.7%減。自動車は一部日系顧客は好調も、一部車種向けが振るわず同0.5%減。建設電販は市販・電設ルート共に鈍化しており同7.5%減少。その他内需は同20.5%減、輸出も16.5%落ち込んだ。

2021年2月分(実績)・2021年3月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	2月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	3月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	2月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	737	▼14.3	▼8.6	800	(8.5)	▼6.7	1,336	▼10.8	1.4
電力	(1,361) 3,804	(12.9) ▼5.7	(12.3) ▼7.7	(2,000) 4,600	(47.0) 20.9	(▼17.3) ▼18.1	(985) 4,917	(8.8) ▼6.8	(11.9) ▼3.0
電気機械	(244) 11,589	(14.6) 4.6	(▼12.5) 4.3	12,900	11.3	12.1	(245) 14,459	(18.4) 6.9	(▼12.8) ▼3.0
自動車	(165) 7,617	(6.5) 4.7	(▼6.8) ▼5.0	8,800	15.5	11.0	(637) 34,097	(8.9) 3.2	(0.5) ▼10.4
建設・電販	(5) 24,053	(▼85.3) 3.7	(▼54.5) ▼7.5	26,400	9.8	▼2.3	(8) 29,836	(▼75.0) 4.6	(▼27.3) 2.3
その他内需	(51) 3,079	(▼8.9) ▼0.03	(27.5) ▼20.5	(600) 4,300	(29.0) 39.7	(7.0) ▼0.2	(57) 5,664	(▼6.6) 1.0	(14.0) ▼15.4
内需計	(1,826) 50,789	(9.7) 2.8	(6.2) ▼5.0	(2,600) 57,800	(42.4) 13.6	(▼12.7) 1.0	(1,931) 90,309	(7.9) 3.3	(4.0) ▼5.1
輸出	(1,223) 1,210	(654.9) 17.2	(543.7) ▼16.5	(1,400) 1,500	(14.5) 24.0	(▼37.6) ▼4.2	(652) 4,677	(558.6) 3.1	(477.0) ▼6.5
合計	(3,049) 52,089	(67.0) 3.1	(59.7) ▼5.3	(4,000) 59,300	(31.2) 13.8	(▼23.4) 0.9	(2,583) 94,986	(36.7) 3.3	(31.2) ▼5.2
心線販売	(466) 23,698	(4.5) 2.1	(▼7.0) ▼6.8	(500) 25,700	(7.3) 8.4	(12.9) 0.1	(117) 19,136	(4.5) 5.8	(▼6.4) 10.1

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2021年2月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	4,450	9.3	23.1	3,581	16.5	19.6	
巻線	10,716	5.7	▼0.1	10,275	6.4	▼10.1	
機器用电線	3,190	3.6	1.7	9,843	5.0	6.0	
通信用電線・ケーブル	1,170	▼5.5	▼6.0	2,677	▼7.1	▼3.6	
電力用电線・ケーブル	17,867	▼0.7	▼16.1	20,055	1.3	▼10.8	
被覆線	9,153	6.4	▼0.8	13,811	4.5	6.3	
輸送用电線	5,543	2.2	▼3.5	34,743	2.2	▼9.2	
銅電線計	52,089	3.1	▼5.3	94,986	3.3	▼5.2	
EM電線・ ケーブル	通信電線・ケーブル 電力用电線・ケーブル、被覆線 計	55 2,644 2,702	▼8.3 ▼11.2 ▼11.2	▼28.6 ▼14.4 ▼14.7	200 3,315 3,537	▼9.9 ▼10.4 ▼10.2	▼21.9 ▼4.5 ▼5.6
アルミ電線計	3,049	67.0	59.7	2,583	36.7	31.2	
光製品	3,261,667	4.7	1.7	23,410	▼1.4	3.2	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,809	0.6	9.4	

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週は、ゴールデンウィーク明け、米Q1 GDP速報値が前期比6.4%増、FOMCでは政策金利及び緩和政策の据え置き、米ADP民間雇用者数が前月比18万人増加等、経済回復への期待が高まっており非鉄全般が強気に推移。特に銅では、チリでの鉱山ロイヤリティー改正法案の審議が供給懸念への警戒感を高め\$10,100に到達。アルミも連れて\$2,500まで上昇してスタート。第2週、大規模インフラ整備政策や、脱炭素によるEV需要などで堅調に推移するも週半ば以降、米CPIが前月比+0.8%と予想の+0.2%を大きく上回る結果でインフレ懸念から国債利回りが急騰し、ドル高を背景に割高感と利益確定売りによって下落基調。第3週、中国李総理が、高騰している商品価格について政府として警戒感を示したことでベースメタル全般下落基調。FOMC議事録でも資産購入ベース縮小が発言されたことでベースメタル市場は弱い動きで推移。第4週、中国当局のコモディティ市場への厳しい方針が打ち出されたことで、ベースメタルは下押し。アルミ価格は一時的に\$100近く下落。一方、FRBの金融緩和継続の見方もあり、上昇下落共に材料が混在。LMEアルミ倉庫は3月から右肩下がり、5月27日時点、172万トンとなっている。小幅なレンジでの動きとなっている。米インフラ案や米経済指標を好感し、上昇相場が予想される。当面は、\$2,500回復に向けて狭いレンジでの推移予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー価格 (CIF) 2021年 4~5月積 2,511.00~2,521.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2021年 4~5月積 292.40~293.50 円/kg
- ・NSP 2021年 3月 294.20 円/kg
- ・NSP (メーカー対応価格) 2021年 4月~6月 280.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高 (単位=千トン)

	'21年3月	'21年4月	'20年4月
月生産	*2,414.0	2,337.0	2,289.0
平均日産	*77.9	77.9	76.3

(* = 訂正有り) 中国は対象外にしております。

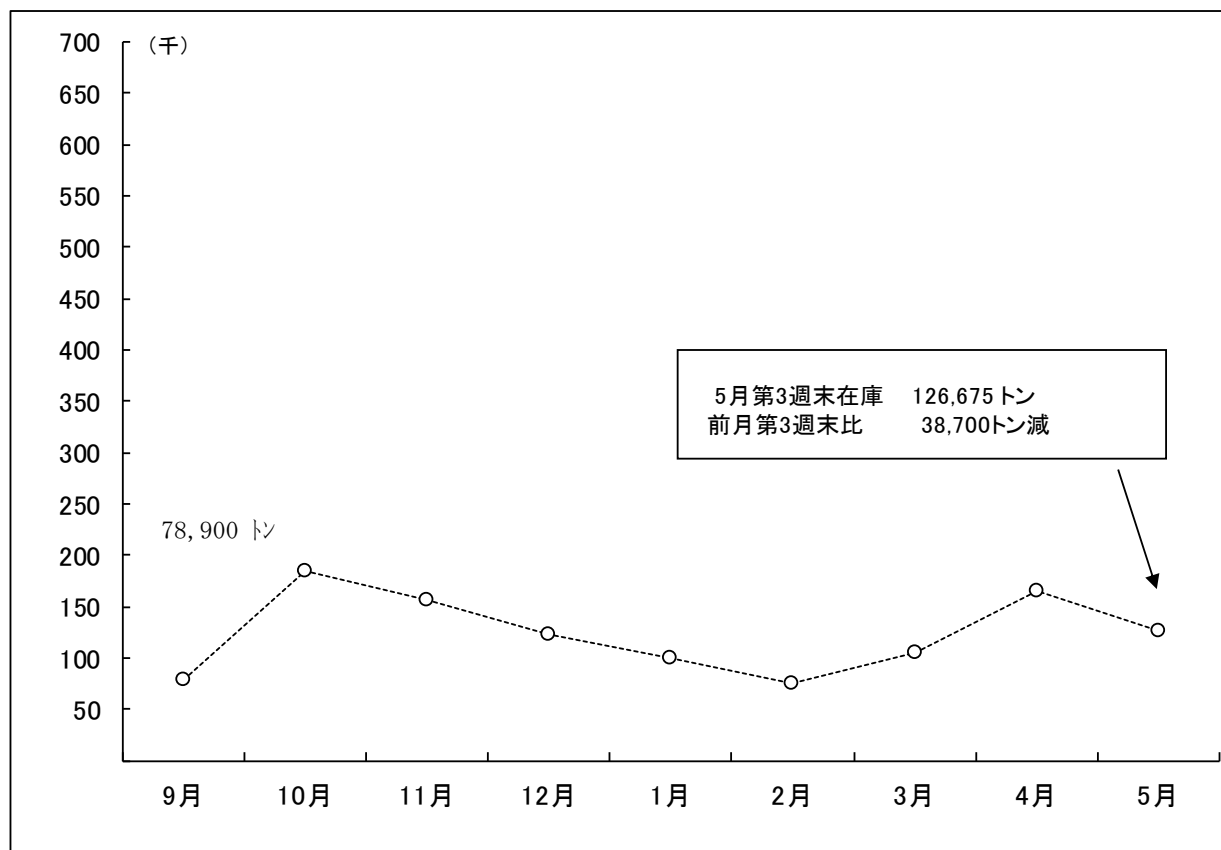
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位: トン)

	2021年1月	2021年2月	増減	2020年2月	増減
横浜	133,700	127,700	-6,000	157,300	-29,600
名古屋	123,200	124,100	+900	126,600	-2,500
大阪	18,600	16,900	-1,700	14,500	+2,400
合計	275,500	268,700	-6,800	298,400	-29,700

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・ 21年5月21日現在 62,308 S T 前月比 6,569 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・ 21年3月末 112,103 トン 前月比 12,204 トン 減

◎ 伸銅品生産実績

・ 21年3月確報 69,912 トン
 ・ 21年4月速報 67,661 トン 前月比 97.2 %

◎ 電線出荷実績

・ 21年4月速報 54,300 トン 前月比 91.6 %

◎ 軽圧品生産実績

・ 21年 4月	板 類	106,101 トン	
	押 出 類	60,817 トン	
		<hr/>	
		166,918 トン	前月比 98.3 %